

新規事業採択時評価結果（平成27年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：茅野 牧夫

事業の概要

事業名	一般国道19号 瑞浪恵那道路（瑞浪～恵那武並）	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局
起終点	自：岐阜県瑞浪市土岐町 至：岐阜県恵那市武並町	延長	8.2 km		
<p>事業概要</p> <p>瑞浪恵那道路（瑞浪～恵那武並）は、国道19号の交通混雑の緩和及び交通安全の確保ならびに、沿線の地域開発支援を目的に計画された、岐阜県瑞浪市土岐町から恵那市武並町に至る延長8.2kmの道路である。</p>					
<p>事業の目的、必要性</p> <p>対象区間の整備により、国道19号の交通の安全性と物流の安定性が確保され、沿線地域における生活・産業活動を支援するとともに、定時性の確保等により、円滑な企業活動、新たな企業立地の進展による民間投資の促進、新たな雇用の創出を支援する。</p>					
全体事業費	約245億円	計画交通量	約13,800台/日		
<p>事業概要図</p>					

<p>関係する地方公共団体等の意見</p> <p>【岐阜県知事】</p> <p>一般国道19号瑞浪恵那道路（瑞浪～恵那武並）の平成27年度予算化については、異議ありません。本道路は一般国道19号の交通渋滞の緩和に寄与するとともに、国土強靱化の観点からも大変重要な道路であることから、新規候補箇所に選定いただき、感謝申し上げます。残る未事業化区間についても、早期に事業化を図り、全線が早期整備されるよう特段の配慮をお願いします。</p>	
--	--

<p>学識経験者等の第三者委員会の意見</p> <p>・新規事業化については妥当である。</p>

<p>事業採択の前提条件</p> <p>・費用対便益：便益が費用を上回っている。 ・手続きの完了：都市計画決定手続き完了(H26.4.25)</p>

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.4	総費用：200億円 （事業費：163億円 維持管理費：38億円）	総便益：281億円 （走行時間短縮便益：235億円 走行経費減少便益：33億円 交通事故減少便益：13億円）	基準年：平成26年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.3（交通量 -10%）	B/C=1.5（交通量 +10%）	
		事業費変動	B/C=1.3（事業費変動 +10%）	B/C=1.5（事業費変動 -10%）	
	事業期間変動	B/C=1.4（事業期間変動 +20%）	B/C=1.5（事業期間変動 -20%）		
事業の影響	自動車や歩行者への影響	評価項目	評価	根拠	
		渋滞対策	◎	国道19号の物流の安定性が確保され、沿線地域の生活・産業活動を支援。 〔混雑度の変化〕 現況 1.42 ⇒ 整備後 0.68	
		事故対策	◎	国道19号の安全性が確保され、沿線地域の生活・産業活動を支援。 〔正面衝突事故率〕 現況 3.4件/億台km ⇒ 整備後 1.4件/億台km	
	社会全体への影響	歩行空間	—	注目すべき影響はない。	
		住民生活	—	注目すべき影響はない。	
		地域経済	◎	定時性確保等の円滑な企業活動を支援。 〔平均旅行速度の変化（恵那テクノパーク～瑞浪IC）〕 現況 36km/h ⇒ 整備後 44km/h	
		災害環境	—	注目すべき影響はない。	
地域社会	○	民間投資を促進し、雇用の創出を支援。 （現在）恵那テクノパーク内にリニア関連企業が建設中 （今後）県等が計画している新たな企業立地等の進展が見込まれる			
事業実施環境	○	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画決定手続き完了(H26.4.25) ・瑞浪市長、恵那市長より早期事業化を要望。 			

採択の理由

費用便益比が1.4と便益が費用を上回っているとともに、都市計画決定手続きが完了していることから、事業採択の前提条件が確認できる。

また、国道19号の交通の安全性と物流の安定性の確保により、沿線地域における生活・産業活動を支援するとともに、定時性確保等により、円滑な企業活動、新たな企業立地の進展による民間投資の促進、新たな雇用の創出を支援することから、事業の必要性・効果は高いと判断出来る。

以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの